

集畫謠童をさま

加藤まささを氏新著

△最新刊

ねむりかご 合歡木の搖籃

▼四六判特製本函入
▼絹表装優雅美本

▼黑白版圖四十二種
▼三色版圖拾二枚

定價貳圓八拾錢
送料 拾八錢

加藤まささを氏の童謠は、畫は、見るから、聞くから、人々の心の奥に美しい情緒を芽ぐませずにはおかないものです、このことは木屋よりは、あなたの方の方がごだけよく御存知か知れませんが、この度、たつて作者におたのみして、こゝ幾年かの力作をあつめて、一冊にしたものがこれです、商買氣を離れて、すばらしい、立派な本を作りあげたのもそのわけです、うら若い人々の、これは輝かしい情緒のお庫です、あなたの方のやさしい鍵を待つ、可愛いお庫です、

△最新刊

東京市日本橋區 大馬路二丁目 内田老鶴圃 振替電話 東京浪花 壹壹參參番 壹參參番 四參參番 六參參番

日本幼稚園協會編

四六列上製本全一冊
定價金參圓八拾錢
送料金拾貳錢
優美なる新裝函入

訂正第二版

幼児に聽かせるお話

クレスマの贈物に賣切れぬ内に速く!!

このお話の本は、お茶の水の幼稚園に於て數年に亙つて、園児に聞かせたお話の中から、子供が三度も五度も繰返して聞きたがつた特別に面白いものを、更に百種選り抜いたものです。つまり無邪氣な、眞實な子供によつて、嚴密な審査を経た譯文から、幼稚園は申すに及ばず、一般の御家庭でも安心して、すぐ其儘讀んで御聞かせになる事が出來ます。其上倉橋先生の「幼兒教育の手段としてのお話」と言ふ講話を附録として添へてある事も、此本の特色です。編者は自信と勇氣とを以て、皆様に御勧め致し得ることを悦びます。

○面白く内容の目次を御覽下さい

- 指太郎 ● 平三さん ● 權藏さん ● 雲雀 ● 蝶 ● 百合子 ● 春子 ● 燕 ● 花 ● 雀 ● 玩具 ● 雀 ● 飛行船 ● 小 ● 旅行 ● 物 ● 羽折 ● 雀 ● 人 ● 狐 ● 羊 ● 河童 ● 赤 ● 似 ● 七 ● お星 ● 羊 ● 狸 ● 人 ● 旅 ● 木 ● 水 ● 雲 ● 話 ● 富子 ● お井 ● 小 ● 稚 ● 初 ● 飛 ● 小 ● 旅行 ● 狸 ● 話 ● 客 ● 月 ● 井 ● 白 ● 鬼 ● 話 ● 鼓 ● 地 ● 太陽 ● 高 ● 象 ● 釣 ● 免 ● 網 ● つ ● 豚 ● 虎 ● 子 ● 熊 ● 話 ● 天 ● 力 ● 痛 ● 取 ● 虎 ● 子 ● 熊 ● 話 ● 風 ● 三 ● 小 ● 日 ● 丸 ● 旗 ● 船 ● 猫 ● 角 ● 力 ● 一 ● 二 ● 日 ● 丸 ● 旗 ● 怒 ● 紙 ● 石 ● 神

附録 幼兒教育の手段としてのお話
 第一、お話の本質と價值(お話し)の定義
 第二、お話し(お話)の起原
 第三、お話の形式
 第四、お話の心理的内容(再生的な問題)と欲求的(問題)の内容
 第五、お話の選擇内容(自分から見た)と選り方(本質から見た)と選り方(舞臺の中心)と主観的(光景)の選り方
 第六、お話の仕方(眞實に感ずる)と選り方(眞實に感ずる)と選り方(眞實に感ずる)と選り方(眞實に感ずる)

發行所 内田老鶴圃
 目丁二町馬傳大區橋本日本東京
 番六四壹貳壹京東管振
 番五叁叁壹花浪話電

明治三十四年一月二十八日第三種郵便物認可(毎月一回十五日發行)

大正十年十二月十二日印刷

印刷所 合資會社 杏林會